



令和7年度 黒田小学校グランドデザイン



富士宮第一中学校

【学校教育目標】
自信を持って
活動する生徒

学校教育目標

自分事として学び、共に活動する子

富士宮第三中学校

【学校教育目標】
志を立て、
共に学ぶ生徒

学校経営目標

楽しくて夢中になる活動を共につくる
-こどものウェルビーイング-

Plan

インクルーシブ教育の推進

次のPlan

16 平和と公正を
すべての人に



- 人権教育・特別支援教育の充実を図る。
- 特別活動を中心に、人間関係の形成を図ると共に、こどもが創意工夫できる場を設定する。
- 学級活動を中心に、自己調整力を育成する。
 - ・よいとこ見付け
 - ・メディアルール
- 特別の教科道徳を要として、道徳性を育てる。
- いじめ・不登校の未然防止のため、個の思いに寄り添い、居場所づくりに努める。
- ICTの効果的な活用を行う。

4 質の高い教育を
みんなに



- 研究テーマ
「問いと対話で
学びを深めるこどもの育成」
 - ・主体的で対話的な学び
 - ・学習から探究活動へ
- 「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実
- デジタルとリアルを目的に応じて組み合わせた授業改善を行う。
- 富士山学習「月の輪」を推進する。
- ビブリオバトル等の質の高い読書活動を行う。
- 「学習スピーチ」を活用する。
- 情報モラル教育を行い、情報活用能力を高める。

3 すべての人に
健康と福祉を



- こどもが個々に目標を持ち、自ら健やかな体づくりへ取り組めるための工夫を行う。
 - ・教科体育の充実
- 健康で安全に過ごすための知識・技能を生活に生かすように工夫をする。
 - ・学校安全教育・防災教育
 - ・健康教育・感染症予防教育
 - ・食育指導・学校保健委員会
 - ・防犯教育・避難訓練
 - ・けが事故防止
 - ・交通安全教育・ICT教育

Do

【育成する資質・能力】

◎探究力：問いをもつ力・対話する力

Check

Act

- ◇学校評価の分析を基にした改善
- ◇校務支援システムを活用した改善
- ◇職員会議等による取組の見直し
- ◇情報の発信・受信（便り、HP）

- ◇学校評価の実施と分析
- ◇学年主任会での学年目標の進捗状況の確認
- ◇教職員による自己評価の実施と分析
- ◇学校評議員、地域の有識者との連携
- ◇学力・学習状況調査等の分析

地域との連携・協力（開かれた学校）

- ◇コミュニティスクールの実施
- ◇地域学校協働本部事業の推進
- ◇生活科・月の輪学習での関わり（サポートプラス）
- ◇学校・地域の安全・安心づくり
 - ・交通指導
 - ・見守り隊の協力
- ◇お話し列車との連携
- ◇地域行事への参加

関係機関との連携・協力

- ◇学校医、薬剤師等との連携
- ◇警察との連携
- ◇SC、SSWとの連携

11 住み続けられる
まちづくりを



家庭との連携・協力

- ◇欠席遅刻の連絡
- ◇早寝・早起き・朝ごはん、あいさつの習慣化
- ◇家庭学習の見届け
- ◇家庭読書の奨励
- ◇基本的生活習慣・メディアルールの徹底